

テンサーFWM工法（補強土壁工）

NETIS (新技術情報提供システム)
登録番号 QS-170002-A

【概要】

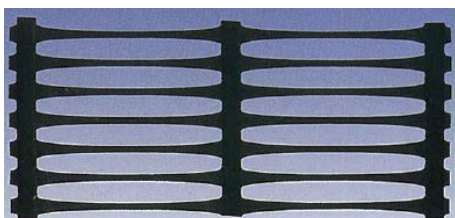
溶接金網製軽量壁面材とジオグリッドテンサーを基本部材とした補強土壁工法です。枠材はクリッパー等を使用して現場で切断できるためコーナやカーブ、縦断勾配にも対応できます。

【特徴】

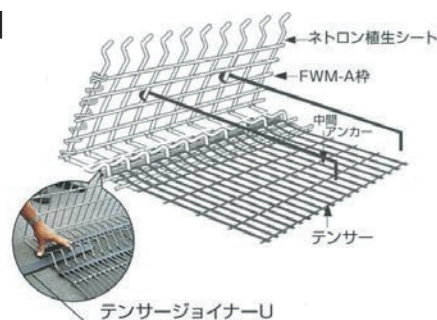
- 鋼製枠の中間位置にアンカーを設置することで壁面に作用する荷重を分散します。
- 中間アンカーを用いることで、のり面近傍の転圧作業が容易です。
- 壁面材は上下左右で連結された構造で、壁面の安定性が向上します。
- 盛土の圧密沈下に対応した構造です。
- 壁面材が軽量で大型重機が不要であるため施工性に優れています。

【テンサー】

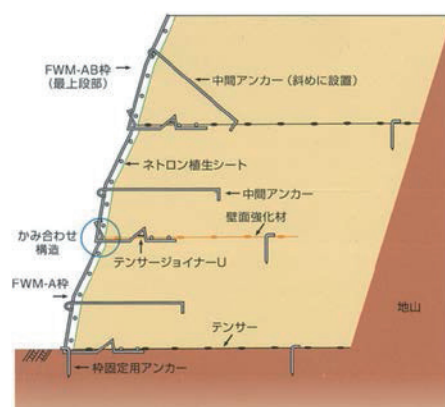
高密度ポリエチレン製のジオグリッドで
耐久性に優れています。



【FWM枠との接続】



【断面例】



<施工年度> 平成 26 年 8 月
<施工場所> 秩父市
<発注機関> 秩父市

三井化学産資株式会社埼玉事業所

久喜市河原井町 9 番地

TEL 0480-28-2071

URL <http://www.mitsui-sanshi.co.jp/>